

清流

西粟倉中学校だより
令和3年6月23日（水）発行

2 飢餓を
ゼロに



6月の生徒会 SDGs
「残食をなくそう！」

校長雑感

～『子どもは大人の鏡』～

最近、ふとしたきっかけでアメリカのドロシー・ロー・メルト博士が書かれた『子どもは大人の鏡』という詩に出会いました。その詩は子育てに関する18の言葉が綴られたものです。その内の幾つかを紹介します。

子どもは、批判されて育つと、
人を責めることを学ぶ ……
子どもは、励まされて育つと、
自信を持つようになる
子どもは、ほめられて育つと、
人に感謝するようになる
子どもは、存在を認められて育つと、
自分が好きになる
子どもは、努力を認められて育つと、
目標を持つようになる ……

この詩を読んで私は、子ども達に良かれと思って話したことや行ったことと、普段の自身の言動に食い違っていることはないだろうか、ちゃんと見本を示せているのだろうかと改めて考えさせられました。話したことと実際にしていることがいつも違っていることはないとは思いますが、「あの時はこう言われたのに、今回は…」とか、「前はこうしていたのに、今度は…」ということは幾らか思い当たります。常に完璧な人間には私はなれませんが、自分の姿や言動が子ども達にどう見られているのか、子ども達の『鏡』にどう映っているのか気づかされる良いきっかけとなりました。同時にこれから先、子ども達にどう向き合っていくか悩んだときにも、一助となる詩に出会えたと感じています。

この詩の最後は次のように綴られています。

“あなたの子どもはどんな環境で育っていますか？”

今年の本校のキーワードは、“ありがとう・助かった・よかった・素晴らしい”です。授業中に生徒が発言した時、担当の先生が「素晴らしい」と返されているのを耳にしました。これらのキーワードが校内のあちらこちらで響き渡るような環境になればと思っています。

もうひとつ、今月の雑感を書こうと思っていたその日の朝に出会った言葉があります。

“あいさつさえできない人に何ができるだろうか”

これは、ノートルダム清心学園の理事長をされた渡辺和子先生の日めくりカレンダーに記された言葉です。正直、厳しさを感じました。が、その横には

面倒だなと思いながらも あいさつをすること。それは、時代と関係なく、私たちが、“するべきときにするべきことをする”という人間としての一つの訓練なのです。

と記されており、先生の挨拶の大切さや尊さに対する強い思いを感じさせられました。私の挨拶に対するモットーは、“見返りを求めず、まず自分から”です。強制的にさせるものとは考えていないし、渡辺先生の言葉に込められた深い思いをきちんと伝えることもできないので、直接紹介することも控えます。ただし、子ども達の『鏡』には常に“笑顔で元気なあいさつをする”姿を映していきたいと思っています。



県大会出場決定!

県総体美作地区予選会 陸上競技の部

5月31日に行われました県総体美作地区予選会で陸上部が日頃の練習の成果を発揮し、みごと県大会出場権を獲得しました!おめでとう!県大会でも記録更新を期待しています。

砲丸投げ

2年 阿部美子、木村京子、萩原汐音、上山義人

走り幅跳び

3年 乾 大夢、藤本暖人

400m走

2年 山下 漕

800m走

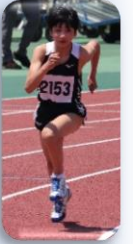
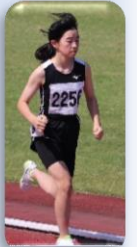
2年 阿部美子

110mハードル

3年 藤本暖人、2年 木村京子、1年 青木 果乃

400mリレー男子

乾 大夢、小椋逢斗、藤本暖人、上山義人、林 謙真、山下 漕



GIGA スクール構想で導入されたタブレットを活用して 学習をしています



生徒 1 人に1台のタブレット型ノートパソコンが配備され、授業や毎朝の健康観察等で活用しています。生徒たちは、慣れた手つきでタブレットを操作します。毎日の補充学習では、タブレットドリルで各自が復習したい課題を選択して取り組むこともできます。



西中の生徒のやる気とアイデアと 実行力があふれています

3年生が掃除の時間に、村民体育館や村民グラウンドのトイレ掃除をしてくれています。ランチルームの換気扇もきれいにしてくれました。みんなが使う場所を快くきれいにしてくれて、みんなの気持ちまでもきれいになっていくようです。ありがとう!

校門付近の掲示板や各教室の班ポスターを見ても、生徒のアイデアや工夫があふれていて学校が明るくなっています。

